

日本保健物理学会 新 Newsletter 2019年2月27日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2019/02/27 17:56:42

日本保健物理学会 新 Newsletter 2019年2月27日号

1. 学会関連情報

○企画委員会 論文紹介記事「低線量率放射線疫学研究における固形がんリスクと線量率効果係数」

(紹介者:佐々木道也会員) を公開

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/report/page.cgi?id=42>

○国際対応委員会 国際放射線防護学会 (IRPA) ニュースレターNo. 20 を翻訳・公開

IRPA のニュースレターである IRPA Bulletin の邦訳版を作成、IRPA のホームページに公開されました(2月25日)

<http://www.irpa.net/page.asp?id=54592>

2. 関連する研究情報

○[本学会後援] 19th International Conference on Solid State Dosimetry (SSD19)

(2019年9月15-20日、広島国際会議場)

南アフリカ共和国の Makaiko Chithambo 教授による「アフリカにおける放射線安全とセキュリティ」の講演決定。

<http://ssd19.org/registration/>

(論文情報)

○Radiat Res. 2019 Feb 19 (電子版先行掲載). doi: 10.1667/RR15267.1.

1986年と2002年の原爆被ばく者線量体系(DS86とDS02)は、3つの年齢区分(幼児、小児、成人)に対する様式化したファントムを使用してきた。本研究では、解剖学的観点から改善するとともに、年齢区分も細分化したボクセルファントムを開発したところ、DS02と比べた臓器線量の違いは、光子が最大25%、中性子が最大70%であった。また、結腸線量の乳がんリスクへの使用は適切でないことが示された。

Dosimetric Impact of a New Computational Voxel Phantom Series for the Japanese Atomic Bomb Survivors: Children and Adults.

Griffin K et al.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/30779693>

○Radiation Measurements Available online 10 February 2019

CAThymARA プロジェクト(原子力事故後の子供と大人の甲状腺モニタリング)において欧州放射線防護専門家グループにより出された勧告のサマリー。

Child and adult thyroid monitoring after a reactor accident (CAThymARA): Technical recommendations and remaining gaps

Broggio D et al

<https://doi.org/10.1016/j.radmeas.2019.02.008>

○Health Phys 2019 Feb 9

福島第一原発事故で主に I-131 による大量の内部被ばくをした労働者 7 名の内 6 名の個々のボクセルファントムに基づく数値解析シミュレーションを行った。ボクセルファントムは MRI 像から作成。個々の甲状腺の大きさは 6.5-28.2cm、6 人のうち 4 人では ICRP の線量モデルのレファレンス値 (-20 cm) よりもかなり小さかった。甲状腺吸収線量の当初の評価値と比較して、約 3 倍の増加または最大で 30% までの減少という予備的な結果が得られた。

Numerical Simulation Based on Individual Voxel Phantoms for a Sophisticated Evaluation of Internal Doses Mainly From 131I in Highly Exposed Workers Involved in the Tepco Fukushima Daiichi NPP Accident

Kunishima N et al

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/30747754>

○Journal of Environmental Radioactivity 201 (2019) 58-66

汚染土壌から食物への放射性 Cs の移行には数多くのモデルがある。地上環境での放射性 Cs 移行を予想するうえで、特に穀物と動物飼料への移行に焦点をあてたモデルのレビュー。

Fit-for-purpose modelling of radiocaesium soil-to-plant transfer for nuclear emergencies: a review

Almahayni T et al

<https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2019.01.006>

3. ニュースや社会の動き

○総務省 パブコメ 平成 31 年度から実施する生体電磁環境研究及び電波の安全性に関する評価技術研究の基本計画書(案)に関する意見募集 (募集期間 3月11日まで)

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban16_02000204.html

○原子力規制庁 平成 30 年度研究成果報告会(放射線安全規制研究戦略的推進事業)の資料公開

(1 日目) <https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/youshikisya/kiseikenkyuu/00000024.html>

(2 日目) <https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/youshikisya/kiseikenkyuu/00000025.html>

○東京電力 福島第一原子力発電所 2 号機で 2 月 13 日に実施した原子炉格納容器内部調査の動画を公開。デブリとみられる堆積物の持ち上げに成功。

https://www4.tepco.co.jp/library/movie/detail-j.html?catid=107299&video_uuid=yq53a9f4

○米国放射線防護審議会(NCRP) Report No. 180 「電離放射線被ばくの管理: 米国のための放射線防護ガイダンス」を刊行 1993 年勧告(NCRP Report No. 116)を 26 年ぶりに更新した主勧告

<https://ncrponline.org/product-category/reports/>

4. これからのイベント

○理研シンポジウム「エンジニアネットワーク・ワークショップ 精密武装抗体の合成と機能評価」

(3月4日、化学会会館ホール (東京都千代田区神田駿河台 1-5))

<https://www.adthree.com/event/2019/02/riken20190304.html>

○日本アイソトープ協会「アイソトープ基礎技術入門講習会」(5月20-22日、日本アイソトープ協会本部)

<https://jrias.smkgt.jp/public/seminar/view/52>

○NPO 法人放射線安全フォーラム市民公開講座「よい放射線とわるい放射線～それってナ～ニ?～その2」

(3月24日、慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール)

<https://www.rsf.or.jp/extension190324.html>

○第14回日本分子イメージング学会総会・学術集会

(5月23日-24日、札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル)

<http://www.molecularimaging.jp/special/index.asp?id=29703>

○ICRP2019(11月19-21日、アデレード オーストラリア) Call for Abstracts Open 4 March 2019

<https://icrp2019.com>

○16th International Congress of Radiation Research (ICRR) 2019 (8月25-29日、マンチェスター 英国)

<http://icrr2019manchester.com/>

○日本放射線化学会 The 8th Asia Pacific Symposium on Radiation Chemistry (APSRC 2020)

(2020年4月21-24日、高崎シティギャラリー)

<http://www.radiation-chemistry.org/apsrc2020/>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○原子力規制委員会行政職員(経験者)の公募(締切: 3月31日消印有効)

【業務内容】(1)安全審査官、(2)原子力運転検査官及び原子力専門検査官、(3)核物質防護検査官

https://www.nsr.go.jp/nra/employ/koubo_tech_01.html

○弘前大学 被ばく医療総合研究所 放射線物理学部門 助教(締切: 3月13日必着)

http://www.irem.hirosaki-u.ac.jp/news_detail_20190225_1.html

○岡山大学 大学院保健学研究科(放射線技術科学分野・医用情報理工学領域)教授(締切: 3月22日17時必着)

<http://www.fhs.okayama-u.ac.jp/recruit5>

○九州大学大学院総合理工学研究院エネルギー科学部門 助教 1 名 (締切: 3 月 11 日必着)

http://www.tj.kyushu-u.ac.jp/ja/aboutus/kyo-in_boshu.php

○理化学研究所開拓研究本部齋藤高エネルギー原子核研究室 研究員(無期雇用職) (締切: 3 月 13 日 17 時 必着)

http://www.riken.jp/careers/researchers/20190111_20/

○広島工業大学工学部電気システム工学科 准教授、講師または助教 1 名 (締切: 4 月 12 日必着)

<http://www.tsuru-gakuen.ac.jp/careers.html>

○東京農工大学大学院工学研究院先端物理工学部門 助教 1 名 (締切: 3 月 29 日消印有効)

https://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/20190329_01.html

○東北大学附属量子エネルギー材料科学国際研究センター 助教 (締切: 4 月 26 日必着)

http://www.imr.tohoku.ac.jp/ja/news/open_position/detail---id-461.html

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同企画委員会

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp
